

猪名川プロジェクト 2005

ー ICT を活用した学校間協同学習 ー

兵庫県川西市立加茂小学校 教諭 坪田 城達

キーワード：川、学校間協同学習、環境教育、伝え合う力、携帯電話、電子掲示板、テレビ会議

1 研究のねらい

(1) ICT 活用による環境学習の深化

猪名川の環境調査を行っている学校もあるが、部分的な調査や学習にとどまっており、川全体を見通すようなものは行われてこなかった。本プロジェクトでは、上、中、下流の学校が協力して環境調査を行い、電子掲示板やテレビ会議システムなどのネットワークを活用し、交流学习を行い、児童の学習を深める。また、指標生物を同定するには専門知識が必要である。ゲストティーチャーとして専門家に来ていただくのが一番いいのだが、いつもそうできるとは限らない。そこで、県立人と自然の博物館と連携し、携帯電話を活用することで、より手軽に専門家のアドバイスを受けられるのではないかと考え、そのような携帯電話を活用したシステム構築を試みた。

(2) 児童のコミュニケーションスキルの育成

本プロジェクトでは、電子掲示板を中心に児童の交流を図る。掲示板を通してであるが、その向こうには人がいることを意識させることで、児童のモラル意識を高める。テレビ会議システムも活用することで、実際に相手の姿を見ることができるのでより相手を意識した交流をさせ、コミュニケーションスキルも高めていく。

(3) 教員の ICT 活用能力の育成

学校間協同学習の中に、様々な ICT 活用場面を組み込み、その活用方法を知ってもらうことで、これからの授業にも活かしてもらえと考えた。また、複数人の教師が共に授業を行い、プロジェクトのコーディネートや技術的なサポートを行うことで、不安が解消されると共に ICT の活用能力も高まると考えた。

2 プロジェクトの実際

- ◆日程 6月6日～2月28日 ◆設定 4, 5, 6年生向けの総合的な学習の時間 ◆総時間数 38時間
- ◆参加校 川西北小5年(2クラス) 桜が丘小4年(2クラス) 緑台小5年(2クラス) 北陵小6年(2クラス) 加茂小6年(2クラス)
- ◆プロジェクト構成 STEP1 猪名川に出かけよう(8時間) STEP2 猪名川の環境調査をしよう(5時間)
STEP3 調査の結果からわかったことをまとめよう(15時間)
STEP4 調査の結果や自分たちにできることをみんなに伝えよう(4時間)
STEP5 みんなで考えたことを実践しよう(4時間～)
STEP6 実践してわかったことや思ったこと、感じたことを交流しよう(2時間)

◆単元目標

- ・猪名川に親しみをもち、調査、観察を通して自然環境に目を向けることができる。
- ・他校と情報機器を活用した交流学习を通して、これからの猪名川について自分の意見を持ち、それを実行することができる。



【写真1 活動の様子】



【図1 携帯コミュニケーションシステム】

3 成果

- ・環境調査などの実体験や ICT を活用した学習スタイルは、子どもたちにとってより意欲と関心を持って学習に取り組むことができ、学習が深まった。
- ・掲示板や携帯電話、テレビ会議といった ICT を活用し、相手を意識させることで情報モラル学習にもつながった。
- ・携帯電話と学習支援システムを活用することでデータの共有、蓄積、公開、連携が手軽にできた。
- ・協同学習で教師同士のネットワークが広がると共に ICT を活用することの良さを感じてもらえた。

4 課題

- ・交流のための時間確保やコミュニケーション能力の更なる育成
- ・携帯電話通話料や双方向を意識したテレビ会議の工夫
- ・今後もプロジェクトを続けていく上で、複数校、異学年が取り組みやすいカリキュラムの作成
- ・プロジェクトのスリム化
- ・コーディネータ、情報教育推進リーダーの育成